

警視庁本庁・丸の内署による

全学連の闘う仲間への 弾圧を許すな!

全国反戦青年委員会・全日本学生自治会総連合(伍代委員長)

東京都杉並区下高井戸1-34-9 03-3329-0165/0168

<http://www.zengakuren.info/>

6月6日、全学連を先頭として警視庁公安・佐々木による全学連の仲間への暴行を徹底して弾劾する警視庁本庁弾劾行動を闘った。これに憎悪した権力は報復感情をむき出しにして、「公務執行妨害」を連呼しながら東京地裁前で情宣していた部隊に襲いかかり、不当逮捕した。共謀罪強行へと突き進む安倍連合政府は、これと真っ向から闘う労働者人民への逮捕—拘禁攻撃を激化させている。

不当弾圧された仲間は、権力のなりふり構わぬ逮捕に怒りを燃やし、冒頭から「取り調べ拒否」を通告し闘っている。湾岸署はこの同志の脇をかかえて無理矢理取調室へ強制連行した。絶対に許さない!

獄中—獄外貫いて、不当弾圧に反撃しよう! 湾岸署—丸の内署に抗議を集中しよう!



公安のテロを許すな! 警視庁を弾劾する反戦と全学連

公安のテロを弾劾する闘いへの弾圧を許すな

6月6日反戦青年委員会と全学連は、警視庁公安刑事・佐々木ら複数の公安刑事の全学連の闘う仲間に対するテロを許さず、弾劾—報復の闘いにたちあがった。

去る5月23日、佐々木を始めとした警視庁公安一課に所属する私服刑事どもは、狭山差別裁判を許さず東京高裁・東京高検など司法・捜査機関に向け弾劾闘争を闘う全学連の仲間へのテロをふるい、靱帯損傷のケガをおわせた。

国家権力は、無実の部落民—石川一雄さんの死刑—虐殺を企み、現在も仮釈放の「見えない手錠」に縛り付けている。石川さんをデッチ上げた警察

を弾劾したことに対する佐々木を始めとした公安刑事の仲間へのテロは、国家権力の部落差別を満展開にしたものだ。

反戦と全学連は、佐々木らが勤務する警視庁本庁正面に青ヘルメットで武装登場し、断固とした弾劾の声を佐々木ら公安一課に叩きつけた。

戦闘的な闘いにど肝を抜かれた権力は、機動隊部隊を動員し、暴力的な排除をおこなってきた。取り囲んで殴る蹴る、地下鉄の階段からつき落とすという暴力と対決し、警視庁本庁を徹底弾劾し抜いた。つづいて、公安のテロを大衆的に暴露し、弾劾する情宣行動を東京地裁・高裁前で開始する。

テロを許さぬ実力弾劾行動への報復弾圧にやり返そう

警視庁正面の闘いに対し権力は即座の報復行動に出てきた。反戦と全学連が情宣を開始するや程なくして地裁前の路上に機動隊車両を横付けさせ、機動隊員達が情宣の中に割りこんでくる。機動隊の情宣破壊を許さず抗議していると、突然「公妨(公務執行妨害)」と叫びだし全学連の闘う仲間をねらい撃ちにして取り囲み、羽交い絞めにして機動隊車両の中に押し込んだのだ。

権力が弾圧をでっち上げようとする時、「公妨」は常套手段だ。機動隊は、車両の中に押し込められ不当に拘束された仲間を解放させようと、つめよる闘う仲間達に「お前も公妨だぞ」「パクるぞ」などと口々に叫びながら、暴力を行使した。そして、あらたに駆けつけてきた機動隊員や公安私服刑事によって仲間達のおしこめにかかった。

権力の狙いは明らかだ。裁判所前から丸の内署に連行された仲間に対し、弁解録取をおこなった刑事は開口一番「なぜ本庁にいったんだ」など

と焦燥感をあらわにしている。警察機構の頂点—警視庁本庁に対する闘いの爆発が、権力にどれ程の打撃と動揺を与えているのかが手に取るようになる。それゆえの報復弾圧なのだ。弾圧に直接手を下した警視庁一丸の内署を弾劾し、やり返す闘いにともに立ち上がろう。



機動隊・公安の逮捕弾圧-情宣破壊を断じて許すな!

共謀罪粉碎！共謀罪と共に肥大化する公安警察解体！

安倍連合政府は、今国会の会期を延長し何としても共謀罪—「テロ等準備罪」の採決を強行しようとしている。反戦と全学連は、労働者人民の闘いの高揚に結びつき奮闘の只中にある。6日の午前中には、予定された法務委員会審議を許さず参院前に登場し情宣行動をおこなっていた。

共謀罪は、労働者人民の団結と闘いを萌芽のうちから揉みつぶすことを目的とした治安弾圧法

だ。その最大の狙いは、実力闘争・武装闘争を担う組織・団結の破壊にある。しかし破壊の矛先はそれだけにはとどまらない。戦前の治安維持法が国家一天皇制に異を唱える団体から、あらゆる団体・個人に拡大されていったように、日帝支配階級は共謀罪を政府や資本の意に沿わぬあらゆる団体、組織に対し適用しようともくろんでいる。

一昨年刑事訴訟法改悪や盗聴法の改悪により、警察—捜査機関には人民管理・支配のための強力な武器が与えられている。共謀罪の下では、公安警察が治安維持法下の特別高等警察の役割を担うことになるのは明らかだ。

沖縄では辺野古新基地建設に対する闘いへの弾圧に警視庁が投入されてきた。そして現場では脳挫傷を負わせるなどのテロがふるわれている。共謀罪を先取りする弾圧もかけられている。弾圧の執行機関—警察・検察とりわけ公安警察解体に向け闘いを強化しよう。

反戦と全学連は、共謀罪粉碎の闘いへの破壊弾圧でもある仲間への逮捕攻撃を断じて許さず闘いぬく。獄中、完全黙秘—非転向・「取調べ拒否」で闘う仲間とともに治安弾圧を粉碎しよう。



現代の特高=公安警察の闘争破壊にやり返そう

